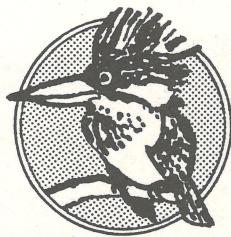


NO. 33
2002年9月15日



夕べ空から落ちていたのは
やぶを走るイタチ
だけではない

誤って毒をすべらせ! 草に
咲きかけて止めた! 花に
そろそろ唄き終り中!
水に溶かして飲めた! 音も食べる魚に
ちとせ争いを止めない人間に
水は届いていない! だろ
いま、集めよう
我々は太陽だと思いきる争いの渦に
その焦がれた心と今本を冷めず
光を集めて孕けにそう



やませみ



てんらんざん とうのすやま
天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

目次

ホテルの観察会を終えて
第7回奥むさし環境講座のお知らせ
特集◎見て、聞いて、触れて、作って、大好評でした!!
2日間だけの「天覧山多峯主山自然博物館」
投稿◎「私にとっての多峯主山」
編集室から
日よう日ふるさと散歩のお知らせ

FROM EDITOR

編集室から



愛知県は二〇〇五年万博をまだやろうとしている。海上の森が少し助かった位で喜んではいけない。住宅地の横(たつた四六メートル先!)を、朝八時から夜十時まで、十二秒ごとに八人乗りのゴンドラを動かそうという生活者無視の案が、昨年末急浮上したりしている。周りに聞いても「行かない」と言う人ばかりで、「行くかもしれない」は皆無。なのに、デイズニード級の大甘の集客想定では、地域でどれだけの動員がなされるのだろうか。開催後、何が残るのか。考えるだけで恐ろしい。万博もオリンピックも国体も、二〇世紀で役目を終えたんじゃない?

林 伸子

日よう日ふるさと散歩

当会では、天覧山周辺の自然に親しんでいただくために毎月「ふるさと散歩」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

◆9月29日(日)

秋の草花で遊ぶうの巻

◆10月20日(日)

ほとけじょうの里で稲刈りしようの巻

◆11月23日(土) ↑曜日注意です!

やつ田のお米で、むかご(ご飯)の巻

◆12月8日(日)

森の恵みでリースを作ろうの巻

○集合 能仁寺山門前 午前9時半

○持ち物 お弁当・飲み物

○動きやすい服装でおいでください。

◆二〇〇三年1月1日(水)

天覧山 初日を浴びて山歩き

○集合 能仁寺山門前 午前6時

○解散 午前8時半(弁当不要)

*各回とも参加費は保険料百円

共催 はんこの景観トラス

(財) 埼玉県生態系保護協会

飯能名栗支部

☆詳しくは編集局までどうぞ。



やませみ 33号

二〇〇二年九月二十五日発行
●編集・発行
天覧山・多峯主山の自然を守る会
●事務局/浅野正敏
0429 (74) 1691
埼玉県飯能市柳町18-17
●編集局/鈴木弘子
0429 (77) 0141
申し込み用紙・やませみは左記にあります。
谷口眼科・銀湖堂・Cafe 裏

一九九五年二月、西武鉄道による巨大団地開発の計画が出されて以来「天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けてきました。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

◆年会費
一般会員……………二〇〇〇円
ファミリー会員……………三〇〇〇円
賛助会員……………一〇〇〇〇円
協力会員……………無料
◆会費・カンパ送り先
郵便振替口座
天覧山・多峯主山の自然を守る会
00580・9・16342

会員の募集しています。



「やませみ」へのご意見をお寄せ下さい。投稿もお待ちしています。
URL=http://tenranzan.room.ne.jp e-mail=tenranzan@room.ne.jp

◎お知らせ



『第7回 里山活用術...市民にとって想いの場』 里山・雑木林とは?

日時◎10月14日(体育の日・月曜日)

午後1時~4時30分

場所◎飯能市市民会館 202 会議室

都市近郊や集落周辺の身近な自然環境の一つである里山は、古くから薪や炭の生産等、人の生活の中でいろいろな形で利用されてきました。最近では自然や開発に対する見方も変わってきて、人と自然とのふれあいの場として、あるいは多様な生態系を育むすぐれた地域として、適正な保全・利用を進めることが大切であるという意見が強くなっています。しかし、二次林、雑木林を中心とした里山は、手を付けずにそのまま放置すれば自然の生物の移り変わりによって植生等が変化し、多様な生態系が失われるおそれもあります。人手をかけた里山であったからこそ様々な花が咲き、土の中の微生物によ



中川さん

って枯葉が腐り、そこから食物連鎖による多様な生態系が形成されてきたといえます。こうした、里山と現代の都市近郊に生きる私たちとの積極的な関わり方をテーマに、神奈川県森林研究所専門研究員で、雑木林の再生・保存活動にかかわっている中川重年(なかがわしげとし)氏に講演していただきます。中川氏はまた「玉川アルプホルンクラブ」を結成して、間伐材利用のアルプホルンを製作・演奏もしているといっています。

六月二十九日と七月六日、天覧入りにホテルの観察会が行われました。一回目の観察会では、約五〇人参加されましたが残念ながら雨が降ってしまいました。「一頭でも見られればいいなあ」と話していたのですが、一頭どころか四〇頭近くものゲンジボタルが確認されました。二回目の七月六日には約二〇〇人の方が参加され、幸運なことにゲンジボタルとヘイケボタルの両方観察でき、最初のうちは数をかぞえていましたが、途中からかぞえていられなくなってしまいました。



とも限りません。これでは観察会等を通して身近な自然を守っていく、特定の生物に限らずあらゆる

る生物を含む環境について考えていくとする私たちの主旨に反してしまいます。それに数十、数百という人数に対してリーダーはわずかに数名。夜ということもあってとても目が行き届きません。何事もなく終える事ができ幸いでした。今後はこういった観察会を催す場合、ある程度参加人数を限定していく必要があります。

尚、日本固有種であり、世界的に見ても稀な生態を有するゲンジボタルを日本の「国虫」にしてみてもいいでしょう。

植本 裕(うすもと) ゆたか

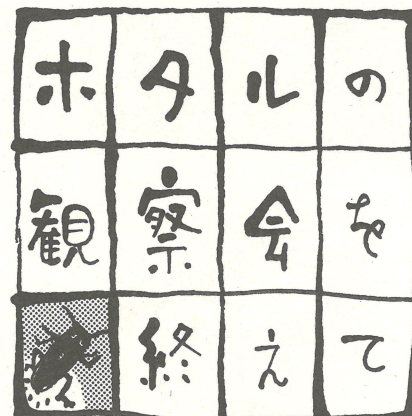
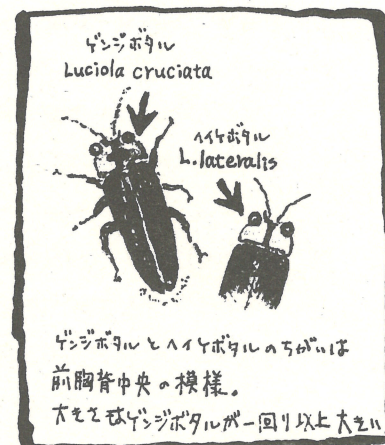


Illustration: SATO Koichi

双方でそれぞれ一六〇〜二〇〇頭はいたのではないかと思います。参加者の年齢層もまちまちで、多くは地元の方でしたが埼玉の他市町や東京からの参加者もいらつしやいました。ホタルを観るのは初めてという方も多く、皆さん喜んでおられた様子。しかし、予想以上の参加人数、そして参加者の素直な反応に私たち自身も喜びましたが、後になって考えてみるとそれだけの人間が一度に入り込むというのとはとても大変な事です。谷戸の畔や湿地は踏み固められ、これから羽化しようとする虫などに影響が出ない



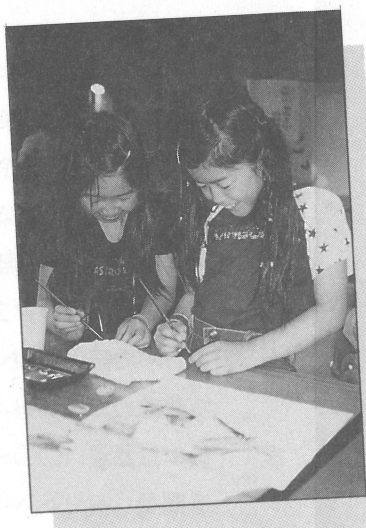
見て、聞いて、触れて、作って...大好評でした!!

◎特集

2日間だけの「天覧山・多峯主山自然博物館」



オオタカ目で見下ろす...天覧山・多峯主山のジオラマ



「ホンモノってこんな色かなあ?」
パッチづくりが大人気でした。



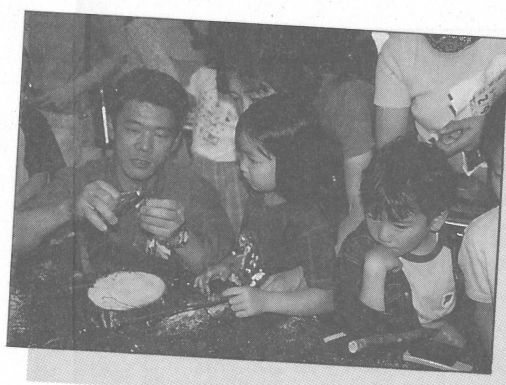
木や草、鳥の巣、虫、水生生物...
会場のおちろに山の宝物を展示。

守る会では約一年半にわたり、天覧山・多峯主山周辺の自然環境の実態を現地調査し、それを一〇〇ページを超える報告書としてまとめました。これを元に、もつとビジュアルに展示する場を設けたいと、五月末の開催をメドに話し合いが重ねられてゆきました。企画案が出る度、出来るかな?と不安を抱きつつ、報告書の内容に留まらないものへ広がってゆきました。更に参加型の企画も盛り込まれる事となったのです。

三カ月の準備期間にもかかわらず、一週間は徹夜に近い作業が続きました。開催期間中には、沢辺飯能市長はじめ教育長、多くの市議の方々も姿を見せ、地域の自然に関心を寄せていました。また、パッチづくり等にはたくさんの子も達が参加してくれたので、用意した材料が足りなくなるなどうれしい悲鳴をあげる状態でした。

今回の展示会では、より広範な人々に天覧山・多峯主山のすばらしさを知って頂くことが出来たと思います。たった二日間でしたが一〇〇〇人近いご来場があり、スタッフ一同一所懸命やった甲斐があったと大いに喜びました。今回の資料・作品は、展示する機会があればまた利用しようということになり、さっそく出張展示が決まりました。また市内の小中学校の総合学習の場での、自然教育学習にも一役買っています。ただこうした活動は、同時にボランティアの負担が大きすぎて今後に課題を残しています。

これまで身近な自然は、経済優先の名のもとにゴルフ場や団地に開発されて来ましたが、しかし世の中の動きも、閑雲に開発するばかりがまちづくりではないという方向に向かっていきます。この森の正確なデータをもとに、よりよい保全のための新たな土地利用の提案ができればと考えています。



うまく枝を組み合わせたら...「あつ、カブトムシになったよ!」



守る会では、今後も県内各地での出張展示を企画しています。天覧山・多峯主山の自然が、飯能市民のみならず埼玉県民にとっても大切なものであることが伝えられていくことと思います。

遠藤夏緒(えんどう なつお)

(しかのゆみ)作曲家・ピアニスト 鹿野裕美子

◎投稿



夏の終わり、多峯主山を訪れました。あたりには蝉の声しか聞こえないのが、かえって静けさを引き立てます。私は音楽活動として、高山植物をテーマにピアノ曲を作曲して、CDや楽譜を出版してきました。今度北アルプスで自作曲のコンサートのために登山をするので、その事前の足慣らしとして多峯主山を歩きました。これまでも度々ここを訪れていました。私にとって高山が「さあ出かけるぞ」というところなら、多峯主山のような里山は安心して帰ってくるようなところです。高山のような厳しい自然とはひと味違う魅力の里山には豊かな生命の営みを感じます。麓の小川の、かすかに揺らめく水の音に耳を傾けてみますと、小さな沢ガニやドジョウ、落ち葉までが大きな自然界の営みのサイクルを感じさせてくれます。空中では時の移ろいと共に刻々と変わるトンボやチョウの姿、虫の声など生命の集まりが大きな自然界の宇宙の広がりを感じさせてくれます。音楽に例えると、ピアノシモ(低音)の世界の多様な音色と広がりですが、このような繊細さと大きなスケールを感じることは、私の音楽で描きたい世界と共通です。多峯主山の自然は日々のストレスで疲れていた身体を元気にしてくれ、人間本来の心に戻してくれます。このような貴重な自然の風景を、いつまでも変わることなく、未来への財産として残してほしいと思います。

(しかのゆみ)作曲家・ピアニスト 鹿野裕美子

県内出張展示 無事終了!

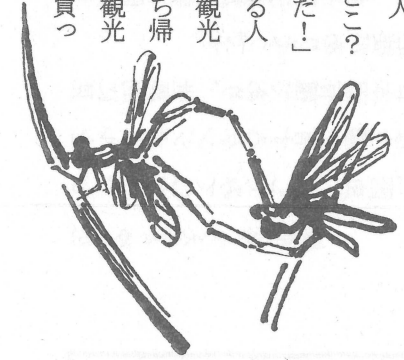
去る八月二七日から九月一日まで、騎西町にある環境科学国際センターにおいて、「天覧山・多峯主山自然博物館」が開催されました。今回の開催は、「来場者の皆様に、より自然を身近に感じてもらえるような企画展示」の第一回目の企画として、私たちの展示が選ばれたもので、同センターの主催、守る会の協力という形で実現しました。

六日間の来場者数は九八七人。飯能市から遠く北東部にある騎西町での開催とあり、訪れる人たちは「天覧山ってどこ? え? 埼玉にあるんだ!」と驚きの声を上げる人が多く、飯能市の観光パンフレットを持ち帰るなど、飯能市の観光案内としても一役買ったようでした。

当日はこちらが意図したように、子供だけでなく大人も関心を持って、見たりさわったりしてもらえたので良かったと思います。この自然博物館の展示をきっかけに野外に出かけて自然にふれあい、今まで以上に自然に関心を持ってもらえたらとてもうれし

いです。

(はらだけい)自然観察指導員 原田恵子



「天覧山・多峯主山自然環境調査報告書」

貴重な自然がいっぱい! 里山の自然を再確認出来る一冊です。

価格 1500 円 / CD-ROM 版 3000 円
市内宮脇書店・Café 裏でも発売中。
報告書のお問い合わせ
◎遠藤 TEL0429-71-0189
e-mail=tenranzan@room.ne.jp



調査を始めるまでの経過や、動植物各分野での調査成果を、図表と合わせてわかりやすい文章で詳しく解説しています。天覧山・多峯主山の自然のすばらしさ、かけがえのなさを正確な調査と具体的な表現で記録した資料になりました。この報告書を一人でも多くの市民が共有し、地域の自然を保全していく糧となる事を願って止みません。

また、飯能市内はもとより、隣接する入間市、狭山市、日高市の各小中学校や図書館、博物館等にも地域学習や環境学習の基礎資料として、寄贈させていただきましたので、そちらも合わせてご活用下さい。